

X. 用語集

番号	ページ	用 語	説 明
1	6, 51, 52, 54, 69	ユニバーサルデザイン	年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、一人ひとりの多様性が尊重され、あらゆる場面で社会参加ができる環境を整えること。
2	9, 22, 23, 24, 25, 32, 40, 41, 50, 67, 76, 77	レファレンス	図書館職員が利用者に対して情報や資料の入手を支援すること。また、適切な情報や資料の入手が容易になるように、資料や情報を整備すること。
3	15, 21, 75	SNS	ソーシャルネットワーキングサービス。人と人とのつながりを促すサービスやウェブサイト。
4	15, 21, 25, 27, 29, 37, 50, 75	デジタルサイネージ	公共施設内や屋外、交通機関、商業施設などでディスプレイなどによって案内情報や広報などを表示する装置。
5	15, 25, 32, 41	コンシェルジュ	図書館の利用案内や、図書館資料等に関する利用者の疑問や質問に応える専門スタッフ。
6	19, 22, 44, 50, 67, 68, 71	参考図書	特定の事柄について調べる場合に便利に構成された資料のこと。辞書・辞典・年鑑・図鑑・名簿等。
7	19, 70	アーカイブ化	図書館の所蔵する資料をデジタル化して記録し、データベース化して保存すること。インターネット上での公開・検索などが可能。
8	19, 20, 25, 50, 69, 70, 75	電子書籍	タブレット端末やパソコンなどで閲覧する電子出版物。
9	20, 69	録音資料	視覚障がいのある方等への情報提供のための資料。音訳者が本を読みあげた声を CD などに録音。
10	20, 69	サピエ	視覚障がい者をはじめ、目で文字を読むことが困難な人々に対して、点字、音声などで情報を提供するためのネットワーク。

番号	ページ	用 語	説 明
11	20	ピクトグラム	表現する物事や情報からイメージを抽出し、文字ではないシンプルな視覚記号によって表したもの。
12	20, 69	大活字本	通常の図書よりも大きな字で印刷されている本。
13	21	バックヤードツアー	利用者は普段入ることのない閉架書庫などを図書館職員の案内を受けながら巡る見学ツアー。
14	23	パスファインダー	特定のテーマに関する情報を探すための手掛かりとなる図書館資料やウェブサイト等を簡潔にまとめた初心者用のガイドのこと。
15	24	商用データベース	過去の雑誌記事や新聞記事、法令や判例などをデータベース化したもの。キーワードや日付などによる検索が可能。
16	25	ポップ (POP)	本の特徴などをアピールするメッセージカードのようなもの。イラストやキャッチフレーズを添えて飾られるのが一般的。
17	26	ヤングアダルトサービス	10代を中心とする青少年を対象としたサービス。YA サービスともいう。
18	28	学校図書館支援コーナー	学校図書館に関して、情報提供、巡回訪問、学習指導に関する図書の配本などにより運営を支援する機能。
19	28, 34	ブックトーク	あるテーマに沿って複数の本の内容を順序立てて紹介すること。
20	28, 70	情報リテラシー	情報を自己の目的のために使いこなす能力。狭義には、コンピューターやインターネットなどを活用して情報を取り扱うための知識や能力。
21	28	読書通帳	図書の貸出履歴を利用者が自分で読書通帳に記録するシステム。
22	30, 51	アメニティ	建物などの環境の質に対して感じる快適性。

番号	ページ	用 語	説 明
23	34	ビブリオバトル	知的書評合戦。参加者が選んだ本の紹介を行い、一番読みたくなった本を投票するイベント。
24	50, 75	OPAC	オンライン蔵書目録。図書館利用者が館内端末や自身のパソコンなどからオンラインで所蔵資料の検索が可能。
25	32, 41, 69	ボローニャ 国際児童図書展	1964年にイタリアのボローニャで開始。毎年春に開催される児童書専門の国際的な見本市。
26	74, 75	IC タグ	ICチップとアンテナにより構成されるタグ。図書資料に貼付することで、貸出・返却の自動化や蔵書点検に係る時間の縮減が可能。